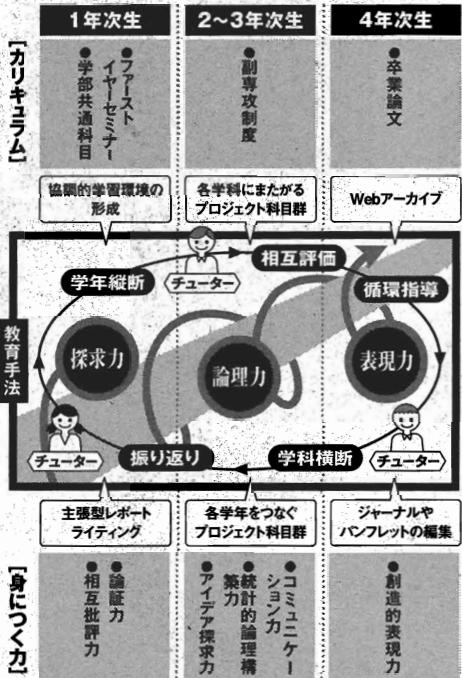


## 「相互啓発による 創造的学力育成カリキュラム」 学びのイメージ

先輩が後輩をクラスでサポートするチュー  
ター制を導入。4年間を通じて何を学ぶのかを  
常に意識し、探求力、論理力、表現力を身につ  
け、卒業後のキャリアに活かしていきます。



詳しくはHPをご覗ください。

<http://ssgp.doshisha.ac.jp/>

特色・個性ある優れた大学の取り組みを、文部科学省が「大学教育改革支援プログラム」に選定しているのを存じでしょうか。同志社大学が採択を受けた5つの取り組みの内、今回は社会学部を紹介します。先輩が後輩をサポートするチューーター制によって、4学年が互いに高めあう学びのミニミニセミナーをめざします。鶴飼孝造教授に話を聞きました。

### チューーター制が生む交流

社会学部恒例の新入生歓迎キャンプでは、教員そつちのけで、サボーターの先輩学生に人の輪ができ、質問や相談が集中します。その様子を見て授業にも活かせないだろうか、と考えたのが、このプログラムの柱であるチューーター制導入のきっかけです。大学の授業は一方通行になりがちで、他学年との交流もサークルやクラブ以外では少ない。その断面をつなぎ、新しいミニセミナーの回路を作りました。

チューーターは後輩20人に1人の割合で、1年次生の導入教育であるファーストイヤーセミナー、2・3年次生の各専門基礎科目など、参加・体験型の授業に入ります。4年次生ゼミからは「卒論幹事」を選んで同学年のまとめ役を任せます。

当初は「何をしていいか分からぬ」「指示がほしい」という戸惑いの声もありましたが、最近は授業の前後に、「質問のある人！」と声かけしたり、時間外にレポートを指導したりするチューーターの姿も見受けられます。そうやって自分で役割を見つけ、人と関係を築くことが、ジェネリックスキル（社会人基礎力）につながります。学生目線で改善点が分かるので教員にもいい刺激になっています。

## 知識や考えを自分の言葉で表現できる力を育成 社会学部ならではの発信力を鍛える



社会学部教授

鶴飼 孝造  
(うかい こうぞう)

〔次回は12月5日土曜  
朝刊に掲載予定〕

### 創造的学力とは

私が考える創造的学力とは、「知識や考えを自分の言葉で人に表現できる力」です。チューーターを結び目として4学年が縦つながり、互いに高めあいながら、人の意見を聞き、人をまとめ説得する力を授業の中で身につけてほしい。そして、ホームページや出版、討論会で、社会学部生ならではの発信力を鍛え、社会に出ても「きらりと光る人」に育ててほしいですね。



1年次生向けファーストイヤーセミナーの模様。  
レポートの書き方やディスカッションの方法を学ぶ。

Power of Education  
Doshisha University

Series 3

全5回

2008年度 文部科学省選定  
「質の高い大学教育推進プログラム  
(教育GP)」採択

相互啓発による  
創造的学力育成カリキュラム  
～学生による評価と  
相互チュータリングの試み～

